

平成 28 年度福山市一般会計補正予算(第 2 号)について

本補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ 26 億 3,684 万 7 千円を追加し、歳入歳出予算総額を、歳入歳出それぞれ 1,696 億 2,184 万 7 千円とするものである。

本補正予算の大半は、6 月 20 日から 6 月 29 日までの大雨による災害関連であり、その内訳は道路、橋りょう、河川、水路、公園などの土木施設の災害復旧事業、農地、農道、水路、頭首工、ため池などの農林水産施設の災害復旧事業、また、消防団員出動報酬、水防対策用資材、災害見舞金などである。

また、安心・安全の実現として、B型肝炎予防接種費など、制度上補正を必要とするものなどである。

何れも市民福祉の向上と安心・安全のまちづくりに資する内容であり、本市の当面する課題対応として早期の事業執行を求め、次の要望意見を付して賛成。

一、介護職員技能向上支援事業、介護ロボット導入促進事業については、両事業とも介護施策の充実を図るものであり、着実な事業実施に努めること。特に、介護職員技能向上支援事業は継続性が求められることから、次年度以降の実施にも努めること。

一、地域包括ケアについては、在宅医療・介護連携に一層意を用い、元気な高齢者が介護ボランティアを担うなど、関係機関が連携し、体制整備に取り組むこと。

一、定期予防接種B型肝炎ワクチンについては、接種対象者である乳児の全員接種をめざし、ていねいな周知を図ること。また、接種漏れの対象者の救済措置についても検討すること。

一、観光施設及び社会教育施設のトイレの洋式化については、ユニバーサルデザインの観点からも積極的に推進すること。

一、芦田川下流右岸の転落事故に鑑み、再発防止に努めること。

一、小規模崩壊地復旧事業については、この度の水害による被害の大きさから、さらなる事業推進に鋭意、努めること。